

Title	編集後記 三田哲学会行事報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	1989
Jtitle	哲學 No.88 (1989. 6) ,p.189- 190
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000088-0189

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

初夏のある日、浅草橋橋詰の舟宿から小さな舟を出してもらって、東京の堀割や橋を見た。隅田川よりも、小さな堀割や狭い運河の方がずっと面白い。橋も、それぞれの表情が豊かで、美しい。都市論云々は忘れてしまい、むしろ名も知らぬ橋のアーチや塊量の見事さに眼を奪われた。ふだんは気づかぬ風や水音、陽光の動きに心をときめかせたひとときだっ

た。三田近くの古川もかつては重要な水路だったから、一度ゆっくりと見たいと思っている。東京の水辺にもっとたくさんの人影がみえ、子供たちの歓声が聞こえるようになるとよいのだが――。

本学会の活動は新会長のもとで充実した一年を送ることができた。会員諸氏のご協力に感謝し、またより一層のご援助をお願いする次第である。(前田富士男)

三田哲学会行事報告

1988年

◇ 6月1日(水) 研究例会 (新図書館A.Vホール, 午後3時~5時)

「巡礼と社会変動—スリランカの事例から—」

鈴木正崇 (本塾文学部助教授)

◇ 6月16日(木) 講演会 (111番, 午後4時30分~6時)

『エイズと私たち』

根岸昌功 (都立駒込病院感染症科, 血液腫瘍学, 本塾医学部昭和45年卒)

稻垣 稔 (本塾医学部小児科, 血液凝固学, 本塾医学部昭和49年卒)

司会 樽井正義 (本塾文学部専任講師)

岩松研吉郎 (本塾文学部助教授)

◇ 6月29日(水) 三田哲学会総会及び研究例会 (A会議室, 午後3時~4時30分)

審議及び承認事項

昭和62年度会計報告 (承認)

昭和63年度予算案 (承認)

昭和63年度本会活動方針 (承認)

「コンピュータと人工知能を考える」

三浦 謙 (本塾大学院文学研究科博士課程)

◇ 10月19日(水) 研究例会 (塾監局第一会議室, 午後3時~5時)

「イギリス文化論—ケンブリッジの生活の中から—」

小泉 仰 (本塾文学部教授)

◇10月29日(土) 講演会 (B C会議室, 午後1時~5時)

「心のリアリティと変則性」

服部裕幸 (愛知教育大学助教授)

「生命倫理と宗教的伝統」

多井一雄 (武藏工業大学助教授)

「量子力学の哲学—N. ボーアの(相補性)概念をめぐって」

大江 晃 (本塾文学部教授)

◇11月2日(水) 講演会 (塾監局三階会議室, 午後3時~5時)

「患者の権利とインフォームド・コンセント—乳ガン・肺ガン・膀胱ガンを例に」

近藤 誠 (本塾医学部放射線科専任講師)

◇11月9日(水) シンポジウム『生命と倫理を考える』 (塾監局三階会議室,

午後3時~6時)

「脳の死について」

厚東篤生 (本塾医学部脳・神経内科)

「死の定義をめぐって」

木村利人 (早稲田大学人間科学部教授)

◇12月10日(土) 講演会 (A B C会議室, 午後1時~3時30分)

「ディルタイの『ヘルダーリン』—ある発展小説の成立と構造」

ラルフ・シュネル (西ドイツ・前ハノーファー大学教授, 本塾訪問教授)

1989年

◇1月14日(土) 講演会 (313番, 午後1時~3時)

「ドイツの心理学と日本との関係」

ハンス・ヨアヒム・クルトコルナット (西ドイツ・ザールラント大学教授,

本塾訪問教授)